

4 5 年幹事及び出席者からの感想

【1】

同窓会についての感想 オープニングの歌、映像、先生へのインタビューなど、内容が豊富で、良く工夫されていました。特に映像は、現在の戸山高校の姿が、要領良くまとめられていて、面白く拝見しました。同窓会は過去を振り返るだけではなく、これからの戸山高校を考えていくという事が大切だと思います。同じ高校の同窓生として、世代を超えて、戸山の今後について話し合える機会にしていければと思います。また会場の設定については、自分の同期がどこにいるのか、もう少し分かり易いと良いと思います。入り口付近が混み合っていて、わかりにくかったのではと思います。案内や整理の係りも、会が始まってからも何人が配置しておくが良いと思います。全体的には、とても盛り上がっていて楽しい会でした。同期会については、時間が短く感じられるほど、楽しい会でした。ゲームも賞品まであって楽しめました。

【2】

反省というか感想です。

□役割分担の細分化と徹底！

□当日の分担毎のタイムテーブル作成！（机上のリハーサル）

□50年の組織化の手伝い！

□イベントは映像やインタビューなど好評でしたが5年後は校舎も建たないし・映像は目玉がなく厳しいのでは？手間隙かけて1年前から撮りだめして新旧の戸山の歳時記や映像で先生紹介みたいな工夫が必要では？大変だよ！

□先走りの企画案

団塊の世代の直後で学校郡制度を始め社会が大きく変化した時代です。そんな時代の変化を THE BEATLES を始めとした懐かしい音楽をキーワードに企画を考えたらどうでしょう？

【3】

3年ぶりの同期会と何十年ぶりの城北会でしたが、簡単な感想をいくつか。

<城北会>

・同窓会という形式での進行で、約30分の行事（挨拶）は止むを得なかったと思います。

それにしては、後ろのほうの騒がしさが目立ちました。

本当に、私たちの先輩たちだったのだろうか？

・会の流れはよかった。オープニング～戸山の移り変わりの映像～校歌、校歌の歌詞を比べるとあの時代の重みを感じてしまいます。

・例年の城北会の流れがどうなのかわかりませんが、余り奇抜なことを考えることはないなと感じました。

・5年後の幹事年には、同期150名以上が目標ですが、1年1年の積み重ねが大事だなと思います。来年からの同期会で少しずつでも参加者を増やしていく努力しましょう。

<同期会>

・楽しく参加しましたが、それだからこそ少し時間が短かった気がしました。

・テーブルのシャッフルもよかった。テーブル人数が揃うようにすればもっと良かったと思います。

今年は幹事としては何もお役に立てなかったですが、来年からは積極的に参加しますのでよろしく願いします。

【4】

あまりたいしたお手伝いもしておりませんし、当日も校歌際の案内配り、同期会の会場チェック、受付の交代等わさわさと動いていて懇親総会にあまり参加できませんでしたので、総括に載せていただくような感想は申し述べられないと思いますが、委員長命ですので遅ればせながらお送り致します。

遅ればせながら会の成功をお祝いし、皆様のご尽力に敬意を表したいと思います。

お手伝いをさせていただいた企画局の仕事は、内容といい当日の進行といい、ほぼ完璧だったのではないのでしょうか。2時間の枠内の出し物として、歌と挨拶とビデオは適当な量だったと思いますし、進行も大変スムーズでした。歓談時間がやや短い感じもしましたが、その分2次会に流れる方が多くなれば、それはそれで却っていいのかもしれませんが。ビデオは1週間前のリハーサルで見ただけでしたが、会場の興味をひきつける魅力十分なものであったと思います。リハーサルで立てた予定と違って、桜井さん自らナレーションをされていたのはご愛嬌でした。実行委員会全体がそうでしたが、企画の方々は特に多士済々で、タレントが集まるとすごいものができる、と実感致しました。われわれも5年後は広くタレントを探したいと思いますが、今回みたいに「ウマ」なくて、「ヘタウマ」あたりを狙っていくのが正解かな、とも思っております。とにかく楽しく準備のお手伝いをさせていただきましたし、勉強もさせていただきました。ありがとうございました。最後に同期数人の感想ですが、開会から30分以上のドライタイムはちょっとしんどかったです。もう少し早く飲ませてあげる工夫が必要だったと思います。

【5】

[1] 各局の横の連絡が必ずしも十分ではなかったように思います。4局長は互いにコミュニケーションをお取りになっていたことと思いますが、準備会は毎回、各局に分かれた議論で終わってしまって、一般の幹事メンバーには全体の流れがつかみにくかったと思います。毎回最後に全体会合に時間をとってまとめと意思統一がなされたほうが良かったと思います。また、幹部にもっと女性の参加があったほうが良かったように思います。ついでに申し上げれば、懇親総会に関する議題と40年卒同期会に関する議題の仕分けが不十分でした。総会開催が近づいてからの準備会に初めて出席された40年卒の方の中には総会と同期会の趣旨の違いを十分に理解されていない方も居られたように思います。

[2] アンケートの件、趣旨はたいへんよく理解できますが、実施するのであれば相当に準備しないと意図とは違ったものになることが危惧されます。若い世代の意見を吸い上げたいという趣旨だと思いますが、現状の懇親総会はその世代の参加が少ないわけですから、アンケート実施の場としてあまり適当ではありません。Catch-22のジレンマです。

あのようなざわざわした場でアンケートに記入してくれと言っても、短い時間で建設的な意見を期待するのはなかなか難しいと思います。年配の世代は書いてくれるかもしれませんが、城北会の現状や運営の問題点について必ずしもよく知っているわけではない世代の人たちが何を書いてくれるでしょうか。「幹事さんごころうさま」といった通り一遍の回答に終わるようではアンケートの意味は希薄です。意味のあるアンケートにするためには相当の時間をかけて設問を練る必要があります。失礼ながら、総会一週間前の最終準備会が終わった後の飲み会で初めて出てくるような話ではなかったと思います。

私が気になったのは、アンケートの趣旨を「懇親総会のあり方に関する意見聴取」に留めるのか、それとも「城北会運営のあり方」についても広げるのかという点です。この点については40年卒の皆さんの間でも意見が固まっていなかったように思います。そこは非常に重要なポイントです。おそらく前者に関するアンケートを議論して行けば必然的に後者も絡んでくるでしょう。城北会運営のあり方については私も納得行かない部分が多々あります。しかしそれらはまず理事会や評議員会の場で議論するのが筋であって、たまたま今年の幹事年であったわれわれが軽々にアンケートを取るような事柄ではないと思います。少なくとも理事会の承認を受けた上でやるべきことだと思います。いろいろ問題はあっても、城北会の執行部は一生懸命におやりになっています。アンケートの内容によってはその方々がどのように受け取られるか、そのあたりの見通しが不明確と感じたので、今回のアンケート実施には賛成できませんでした。要するに、「当り障りのないアンケートならばやる意味がない。本格的なアンケートならば関係者にも諮った上で慎重にやる必要がある」、ということです。その場に居合わせた45年卒の他のメンバーもほぼ同じ意見であったと思います。

[3] 久野さんは城北会事務局の職員であって、懇親総会実行委員会の秘書ではありません。もちろん彼女はサポート学年の幹事長として喜んでお手伝いをしたと思いますが、傍から見聞きして「これは本来40年の方々がやるべきことではないの?」という事柄が多々ありました。それでなくても少ない給料で城北会の多様な事務をこなしている彼女に、たまたま幹事年でもあったということで甘えた部分があったのではないのでしょうか。

[4] 魚民はもう飽きました。

45年同期は、5年前と今回、懇親総会実施のお手伝いを通じて、いろいろと勉強させていただきました。5年後に生かせるようにしたいと思いますのでその節はご支援よろしく願いいたします。

【6】

土曜日は、本当に有難うございました。
何もしない幹事ですみませんでした。それなのに、当日は楽しませて頂きました。有難う、です。
これからもどうぞ宜しくお願い致します。

【7】

少しのお手伝いでしたが大変でした。総会が少ししか見れずに残念でした。

- 最後の名札の回収はもう少し出口のそばで分かりやすくした方が良いでしょう。リボンの回収も。
- 今回のようにクロークが離れている時は年配の方の荷物のお預かりを決めておく。
- 必要な用度品の手配をしておく。
 - ・受付けの現金入れ ・テープカッターなど
- 今回の30万円の両替金の準備は適当だった。
 - ・途中からは集金から代用できた。
- 受付け名簿の黄色のマーカーは分かり難い。
 - ・金額などの記入の統一が必要
 - ・追加記入の欄がない場合があった。
- 城北会のコーナーの準備が悪い
 - ・釣り銭の準備もない
- 短時間に集中する受付けでは名簿の確認と金銭の授受で手一杯
- 40年、45年の前払い・同期会別会計の受付け対応の徹底が必要

思いつくままに・・・、食事、飲み物についてはわかりません。

【8】

45年としてのコメントですが、我々は主体的には係わっておらず、余りコメントできる立場にありません。
アンケートについて。

当方が2日の席上で提案したのですが、40年、45年という立場ではなく、一城北会員として（特に母校の隆盛が欠けてきていると思われる現在）懇親総会及び城北会の振興を図るためには、当然のことながら、手続きを経て（様々な回答がきますので）、目的をはっきりさせて（動員、会費支払促進、懇親会の内容、等々）アンケートは必要ではないかと、考えています。

【9】以下箇条書き

- ・結局食べ物が余ったのは食べる時間がなかったから。すぐ暗くなるので取りに行けなかった。
- ・食べる余裕がなく乾杯まで飲み食いができなかった
- ・新卒の人達(若い女性)や若い後輩と話せたのは良かった もっといろいろな世代と話せるとよい。
- ・音と映像と演出がよかった 企画と演出がよかった。
- ・出席の少ない年次の出席者に寂しい思いをさせないようなサポートが必要。
- ・縦のつながりが希薄、若い世代に来てもらう工夫が必要。
- ・総会会場にはほとんど入らなかったのが良くわからない。
- ・テーブル配置がわかりにくかった。
- ・準備段階で40年卒の女性の参画が少なかった。
- ・高齢者で会費を払ったかどうかわからなくなった人に対する対応など、受付の対応が徹底していなかった。
- ・会場が駅から遠く、坂があって高齢者には辛かったのではないかな。
- ・先生方が手持ち無沙汰な感じがした。
- ・卒業生が先生の所に話に行き難い会場の構造だった。会場が暗くなってイベントが始まってしまったので椅子席には近寄りた感じだった。
- ・先生の席を決めた為に、先生方は動けなかったのではなかったか。

- ・インタビューはなくてもよかったのでは。先生方も退屈そうだった。
- ・40年の幹事の方々は中枢とその他のメンバーの間に温度差があった。情報の行き渡りが良くなかった。
- ・40年の方のメールの流し方がわかりにくく宛先が統一されていなかったり抜けていたりで心配だった。
- ・いろいろな世代が主体的に参加する場があったらよかった。
- ・過去を振り返るよりも現在の戸山を紹介する形のビデオは良かった。
- ・40年の方達が150人集めたことは賞賛に値するが、全体的な動員活動についてはあまり評価できない。結局先輩の世代を頼って450人を達成した形になっている。
- ・横の関係がわかりにくくて流れがスムーズでなかった。現場レベルで横の連携が見えていない。
- ・他の人が何をやっているのかわかめなかった。
- ・役割分担が悪く、自分の責任が終わったら他の大変な部署を手伝いに行くようなやり方が必要。
- ・会場のテーブルの名札付け・作成など45年がやっていた。当初サポートのつもりだったが手伝いではなく任されているよう思った。
- ・イベントは面白かったが多過ぎて他の方と話せなかった。
- ・歌のスタートを5分前から始めて欲しかった。
- ・傘の忘れ物の問い合わせ。事務局ではなくホテルへ問い合わせさせていただく方がよい。すぐ取りに戻るかもしれないので。
- ・事務局での最後の後片付けが日程も早くて綺麗に片付けてよかった。